

“歯科治療の中断”は、コロナ重症化リスクが高まります!!!

鶴見大学歯学部教授の花田信弘先生によれば、

1. 新型コロナウイルスは単独ではそれほど強毒性ではなく、不顕性感染(感染しても無症状を示す)が多い→単独であれば軽症のウイルス性肺炎で済む。
2. しかし、口腔内の衛生状態が悪い場合は、口腔内細菌が「毛細血管経由&誤嚥による気道経由」により肺胞へ細菌感染を起こす→ウイルス性肺炎では済まず、2次的に細菌性感染に発展することで重症化。致死率が急激に増加します。

つまり、“**歯石などに潜む歯周病細菌、悪化した虫歯に潜む齶蝕の細菌が増殖し、歯茎は腫れ、化膿し、炎症を起こしているような口腔内であれば、年齢に関係なく確実に重症化リスクが上昇します。**”

全国的にも歯科医院でのクラスター報告は少なく、当院の院内感染対策は徹底しております。

必ず担当医と計画的に今後も治療を継続し、定期検診を徹底することをお勧めいたします。